

令和6（2024）年度第4回 函館市企業局経営懇話会 会議録

【開催日時】 令和7年3月26日（水） 午後2時00分～午後3時06分

【開催場所】 函館市企業局庁舎4階大会議室（アクロス十字街）

【次第】

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理について
- 3 報告事項
 - (1) 令和7（2025）年度企業局各会計予算の概要について
 - (2) 乗車料金の改定について
 - (3) 令和7年2月3日発生車両発煙（水蒸気）の概要について
- 4 その他
- 5 閉会

【出欠状況】

■委員（出席12名）

（○は出席，敬称略）

所 属 団 体	氏 名	欠	所 属 団 体	氏 名	欠
公立はこだて未来大学	白石 陽	—	函館消費者協会	森元 浩	○
北海道大学名誉教授	三浦 汀介	○	連合北海道函館地区連合会	黒瀧 浩二	○
北海道税理士会函館支部	福田 雄基	○	函館商工会議所	竹内 正幸	○
北海道電力ネットワーク株式会社	中村 信吾	○	函館水産連合協議会	布目 征康	○
函館市社会福祉協議会	佐藤 秀臣	○	函館地区バス協会	渡部 浩典	○
函館市女性会議	佐々木 香	○	函館湯の川温泉旅館協同組合	大桃 誠	—
函館市町会連合会	江頭 進	○	一般公募	山本 秀治	—
函館市町会連合会 東部地区協議会	川口 英孝	○			

■事務局（出席25名）

手塚企業局長

- ・ 管理部 臼杵管理部長，兵庫管理部次長，早瀬総務課長，両角経営企画課長，今野経理課長，杉澤料金課長，加藤収納・滞納整理担当課長，経営企画課4名
- ・ 上下水道部 伊藤上下水道部長，田原上下水道部次長，川村管路整備室長，佐野業務課長，川尻計画担当課長，丹内建設担当課長，櫻井維持管理担当課長，西谷浄水課長，加地終末処理場長
- ・ 交通部 高木交通部長，廣瀬交通部次長，向出安全推進課長，湊事業課長

【会議発言概要】

1 開会

経営企画課長 本日は、ご多忙中のところ、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
開会前ではございますが、白石委員、大桃委員、山本委員におかれましては、所用により欠席されますことをご報告させていただきます。
なお、当懇話会の会議録につきましては、後日公表となりますことをご了承願います。
また、ご発言の際には、マイクをお使いいただきますようお願いいたします。
それでは、ただいまより令和6年度第4回函館市企業局経営懇話会を開会いたします。

2 議事

経営企画課長 次第2の議事でございますが、ここからの進行を三浦会長にお願いしたいと思います。
三浦会長よろしくをお願いいたします。

三浦会長 それでは、次第2の議事でございます。
事務局から説明をお願いいたします。

経営企画課長 それでは、「函館市上下水道事業経営ビジョン」および「函館市交通事業経営ビジョン」の進行管理に係るご意見に対する企業局の考え方について、経営企画課長よりご説明させていただきます。

<説明 資料1～2ページ>

三浦会長 ただいま、事務局から説明がございましたが、各委員の皆様から質問等ございましたら、よろしくをお願いいたします。はい、どうぞ。

川口委員 川口です。2ページの一番右のご意見に対する企業局の考え方ですけれども、軌道がはっきりしている路面電車というのは一番自動運転に適していると思うのですが、自動運転を導入する予定はあるのでしょうか。

交通部次長 交通部次長よりお答えいたします。路面電車の自動運転につきましては、技術的な開発という部分では川口委員が仰られたとおり、レール上を走るので自動で動かすことは十分立証されていますが、今のところ、歩行者あるいは近づいてくる自動車を検知してしまうと、車両が止まってしまうという状況です。近づいただけでも止まるとなると実用的にはまだ問題がある点と、法整備が追い付いておりませんので、まだまだ自動運転が可能になるレベルには至っていないことから、導入の予定は今のところございません。
以上でございます。

三浦会長 よろしいですか。それでは、他の委員の方、ご質問等ございますか。
はい、どうぞ。

川口委員 川口です。1ページですけれども、埼玉県八潮市の陥没事故を見て一番先に感じたのは、八潮というのは八つの海ですよね。昔は東京湾の一角で、海にぼつぼつと島があったところを後から埋め立てたことで、塩害なども今回関係したんじゃないかなと思っています。函館は陸系統の島と亀田半島がくっついた、そういう町ですけれども、この断面図というのはあるのでしょうか。

水道関係の友人から、函館の大門辺りは少し掘ると海水が出てくるような状況だと聞きました。今後、塩害の心配がとて多くなってくるんじゃないかなという感じがしましたので、断面図はどうなっているのでしょうか。下には亀田半島と函館山を結んだ岩盤があり、それに砂が積もっているのでしょうか。砂が何メートルあるのか、下の岩盤がどれぐらいあるのかというのはわかるのでしょうか。

経営企画課長 経営企画課長よりお答えいたします。川口委員が仰られているのは地質データのことだと思いますが、下水道工事や水道工事に伴って地質調査を行っており、地質データは企業局で保管しているような状況になっております。
以上でございます。

川口委員	それは、どのくらい砂が積もっているのか、どのくらいの岩盤があるのかとかがわかるのでしょうか。
経営企画課長	地質調査を行った箇所については大体わかりますが、いろいろな地点においてボーリング調査は行っているのですが、その各地点によって土質等の状況が変わってきます。
三浦会長	そういう調査をやっているということですが、多分、川口委員がお聞きしたいのは概略が知りたいのではないのでしょうか。断面の縦方向の分布はどんな状態になってるのかということを知りたいように思いましたので、何かそういう資料がありましたら、後ほど委員に照会していただければと思います。
経営企画課長	企業局で持っているデータと、市全体として持っているデータがあるかと思いますので、後ほど精査させていただいて、ご確認させていただきたいと思います。
三浦会長	よろしくお願いいたします。それでは、他の委員の方、ご質問等ございますか。 はい、どうぞ。
黒瀧委員	黒瀧です。今の件に関連してですが、先日、陥没した地域の下水道管の大きさが4メートルくらいあるという話をニュースなどで聞いたのですが、函館市においても、そういう大きな下水道管が埋められている地域があるのでしょうか。また、この陥没事故というのは、いつ、どこで、どのようにして起きるのか予測は出来ないと思いますが、この陥没を起こさないように、事前の取り組みというのは出来るものなのか、もしくは、その調査等をしているとは思いますが、年間どのくらいの距離の調査が可能なのでしょうか。 日ごろ道路を車で走っていて、あのような陥没事故が起きると、いつどこでわが身がそういうふうになるのか本当に心配になってくるような状況なので、端的にその辺について聞いてみたいと思います。
維持管理担当課長	維持管理担当課長よりお答えいたします。下水道管の口径ですが、函館市の場合は八潮市のような4.7メートルくらいの大きい管はなく、最大で3メートルになります。事前の取り組みといたしましては、腐食環境下の管路につきましては5年に1回、重要な幹線については10年に1回、その他の管路につきましては15年に1回の頻度で点検をしております。以上でございます。
三浦会長	よろしいですか。それでは、他の委員の方、ご質問等ございませんか。 他にご質問がなければ、各経営ビジョンの取り組みについて、懇話会として確認したということにしたいと思います。 次に、事務局から各経営ビジョンの進行管理に係る今後の流れについて説明をお願いいたします。
経営企画課長	各経営ビジョンの進行管理に係る今後の流れについてご説明いたします。 先ほど経営懇話会でご確認をいただいたところでございますので、企業局のホームページに、前回の懇話会で配付させていただいた資料のとおり公表させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
三浦会長	それでは、本件について終了いたします。
3 報告事項	
三浦会長	次に、次第3の報告事項でございますが、（1）令和7年度企業局各会計予算の概要について事務局から報告をお願いいたします。
経理課長	経理課長よりご報告いたします。 ＜説明 資料3～5ページ＞
三浦会長	ただいま、事務局から報告がございましたが、各委員の皆様からご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。はい、どうぞ。

川口委員 温泉の一日供給量ですけれども、前年度からマイナスになっていますが、30年、40年ぐらい前には屋上に温泉があるホテルはなかったのですが、今は結構多くなりました。それで、温泉を掘るときの許可というのは、企業局が許可するのでしょうか。それとですね、汐泊川の2キロメートル沖にある海底火山が泉源であるということを聞いてますけれども、大門近辺も温泉を掘っていますが、泉源の温泉量が減っているということはないのでしょうか。

維持管理担当課長 維持管理担当課長よりお答えいたします。温泉の許可についてですが、企業局も1泉源者として井戸を掘っている立場になり、その温泉の許可は函館市の保健所が窓口で、北海道が許可をすることになります。大門地区の温泉の量についてですが、大門地区には企業局の源泉がないため温泉量の状況については把握しておりませんが、企業局の源泉に関しましては、現在、源泉の水位が少し低下傾向にございますので、水位を保つために、温泉の使用の方々に、試験的に少し使う量を減らしてもらっており、今のところ問題はないと思っております。以上でございます。

三浦会長 よろしいですか。それでは、他の委員の方、ご質問等ございますか。

中村委員 北電ネットワークの中村です。2点質問をさせていただきたいと思います。1点目は3ページの水道事業会計の左側の業務の予定量の中で、水道給水栓数ですとか、総配水量という数量をお示しいただいているかと思うんですけど、感覚的に函館市自体の人口が減少してきている中であって減っていくという傾向なのかなと思うと、若干微増という数字があったり、現状と変わらずというような数字があったので、この想定的前提としてどのような前提を置いて2025年度の予定量というのを算出したかということを教えていただければというのが一点目のご質問でございます。

経理課長 経理課長よりお答えいたします。令和7年度予算の水道給水栓数などの予定量の見方につきましては、令和6年度の決算見込みを算定いたしまして、それに減少率などを掛けて算定しております。

中村委員 素人的な質問で申し訳ないのですが、もう少し詳しくいうと、どんな形の想定を置いていることになるのでしょうか

経理課長 令和6年度の上期実績が出ておりますので、その数字を勘案しまして、過去の減少率や増減をみまして、令和7年度の予算としていただいております。

中村委員 承知しました。過去の実績というのはコロナ禍の特異な状況を除いて、平年値みたいなものをみているという理解でよろしいでしょうか。

経理課長 はい、その通りでございます。

中村委員 ありがとうございます。2点目の質問をさせていただきたいのですが、5ページ目の交通事業のA3用紙左側の下に、収益的収入合計と収益的支出合計というところを示した中で、過年度の留保資金との合計値を算出いただいた結果、最終的に1千万円のマイナスという数字が当年度末財源残額とお示しいただいてるんですけども、企業会計において残額は翌年度に繰り越すようなお金になるんだろうなというイメージは湧くのですが、計画段階で残額がマイナスになっている状態というのはどういう状態を指すのか、何らかの補てんをするというような形の計画を作らなくていいのか、それとも会計的にこういうマイナスは出るけれども、特に計画段階では、これで差し支えないということなのか、その辺を少しわかりやすくご説明いただければありがたいなと思います。

経理課長 財源残額が1千万円のマイナスとなっておりますが、こちらにつきましては一時借入金で補てんするなど、会計的には問題ございません。

中村委員 一時借入金というのは、例えば資料の中にある企業債とは違うということなのでしょうか。

経理課長 企業債につきましては、建設改良費に充てる財源になりまして、一時借入金はキャッシュの足りない部分の穴埋めというようなイメージになっております。

中村委員	資料の中では一時借入金という項目では出ていないのですけれども、会計上の整理としてそうになっているという理解でよろしいでしょうか。
経理課長	はい。その通りでございます。
中村委員	承知いたしました。ありがとうございます。
三浦会長	よろしいですか。それでは他の委員の方、ご質問等ございませんか。 質問がないようですので、次に、（２）乗車料金改定について、事務局から報告をお願いいたします。
経理課長	経理課長よりご報告いたします。 ＜説明 資料６ページ＞
三浦会長	ただいま、事務局から報告がありましたが、各委員の方、ご質問等ございましたらよろしくをお願いいたします。はい、どうぞ。
川口委員	川口です。１の（２）の一番下ですけれども、保護者が同伴する場合の幼児の無料人数が、保護者１人につき４人になるということですが、今、少子高齢化で４人も小さい子供を連れて歩くというのはあまりないと思うのですが、４人の幼児がいる世帯は何世帯くらいあるのでしょうか。これはほとんどいないと思いますので、全部無料にした方がいいのではないのでしょうか。どうして４人にしたのかなという素朴な疑問です。
事業課長	事業課長よりお答えいたします。保護者が同伴する場合の幼児の無料人数を、保護者１人につき４名としておりますが、ここで保護者とありますが、本当の親ではなくても、幼稚園や保育園等での課外授業に出かけられるときの保護者も対象としておりますことから、こちらの人数にさせていただいております。以上でございます。
三浦会長	よろしいでしょうか。 はい、どうぞ。
川口委員	４０人いる保育園が乗車した場合、４人しか適用にならないということでしょうか。
事業課長	４０人でご乗車された場合、先生を保護者としまして、大人の人数掛ける４となりますので、そこから外れる人数分に関しましては、料金が発生することになります。以上でございます。
三浦会長	事務局からの回答について、よろしいでしょうか。
川口委員	はい、わかりました。
三浦会長	この文章で今の内容を表明するには、少し説明が足りないのかなと思います。 保護者というのは、必ずしもその実際の親でなくても、幼稚園の先生方も含まれたり、そういうことがわかるような内容にするといいのではないかと思います。
事業課長	わかりました。
三浦会長	それでは、他の委員の方、何かありますか。はい、どうぞ。
福田委員	福田です。１点教えてほしいことがあるのですが、乗車料金など値上げをしますと、予算でいうところの収益的収支というのは概ね一致するまではいかないような感じなのではないでしょうか。
経理課長	経理課長よりお答えいたします。料金改定後は一定程度、安定した経営が出来ると思込んでおります。

福田委員	それで、値上げをしてどういう経費が賄えるのか、そういう見込みというのは、どのような感じなのでしょうか。市電というのは1回値上げしたら、しばらく値上げは出来ないのでしょうか。上限運賃の枠を広げていただいたということなんですけど、それは210円が250円になったことを仰っていたと思いますが、その枠はもっと上げられるものなのではないでしょうか。
経理課長	上限運賃につきましては、原価計算などをきちんとした上で決めており、認可申請をして、認可になれば広げることは出来ます。
福田委員	そうなのですね。結構長い間にわたって収益が低く、悪い感じがしたので、今回210円から250円なので20%ぐらい上げているので、上げ幅的には大きいですね。それでも結構辛いのかなと個人的には思っているのですが。また値上げなどを考えた方がいいのではないかと個人的には思っています。それで収益的収支とか、これがずっと赤字というのは上手くないと思いますので、何とかその辺を考慮しながらやっていくのがいいのではないかと、個人的な感想になりますが、そう考えています。以上です。
三浦会長	今の意見に関わるような議論というのは以前から何回かやっていますよね。その背景には様々な問題があるので難しいところだと思います。これと関連する話は、路線の延長の話なども以前に出ましたけれども、そういうことと少し絡んだ話だと私は思ってます。要するに、ご当地のこういう電車みたいな乗り合わせる公共交通機関というようなものを、どのように市民が考えるかというところが、かなりきちんとしないと、高いのか安いのかという議論にすぐ行けないような気がしているんですね。というのは、この前も私が言ったと思いますが、世界的に見ると無料のところや100%受益者が払うような事例もあるようで、そこはすごく幅があるんですね。函館の場合、ちょうど中間ぐらいのところでは現在やっていますよね。そのようなところも捉えながら実際に値上げをするとなると、利用者の負担というものもあるわけで、そういう乗車する人たちの料金に対する負担の増加ということも非常に大変でしょうし、いろいろなことが起こるわけですが、そういうのを根本的にどういうところで、この市の交通を進めていくのかということが議論されないと、今の金額が良いか悪いかというのがなかなか難しく、委員の仰ることもわかりますが、なかなか事務局の方も明解な答えを出せていませんでしたので、その辺の事情は皆さんちょっと察していただけるものというように私は考えてます。 他の委員の方、何かありますか。はい、どうぞ。
黒瀧委員	黒瀧です。運賃の値上げの関係についてですけれども、今が3月で運賃の値上げが令和7年12月ということで、およそ9か月後くらいになりますよね。運賃を値上げするのに9か月もかかるものなのではないでしょうか。ちょっと時間がかかりすぎなのかなという気がしました。例えば、今後また運賃の値上げをするにしても、1年後からその議論をして、1年後に値上げというような逆算をするとそういう計算方式も成り立つとしたら、企業局として予算の立て方とか、大変考慮されるのかなという気がするのですが、3か月後とか4か月後くらいに値上げが出来るような仕組みというのはないのでしょうか。その辺を聞いてみたいと思います。以上です。
経営企画課長	経営企画課長より回答いたします。料金改定に向けたスケジュールでございますが、先ほど料金改定の経過などを踏まえて、今後の予定ということでお知らせした内容と重複することもあると思いますが、料金改定を行うためには条例の改正、それから北海道運輸局に対して上限を決める認可申請が必要となります。認可申請後、認可が下りるまでにおよそ2か月程度を要し、その後、各料金を設定するための規定の見直しを行い、北海道運輸局に対してあらためて届出を行います。また、ご利用者様に対する周知期間がどうしても必要になりますので、一定程度の期間は要するものと考えております。以上でございます。
三浦会長	よろしいですか。それでは、他の委員の方、ご質問等ございますか。 ご質問がないようですので、次に、（3）令和7年2月3日発生の車両発煙の概要について事務局から報告をお願いいたします。
事業課長	事業課長よりご報告させていただきます。 <説明 資料7ページ>

三浦会長 ただいま、事務局から報告がございましたが、各委員の皆様から、ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。
ご質問等がないようですので、私から1点質問よろしいでしょうか。
今回の件を踏まえて、市電の安全性を確保するために、今後の対応について何かございましたらお聞かせ願えれば幸いです。

交通部次長 交通部次長の廣瀬です。市電の安全統括管理者として回答いたします。ここ数年、脱線事故、インシデント等をいくつか発生させてしまいました。それぞれの事象について原因究明に努めまして、各種対策を講じてきました。ただ、事故やインシデントというものは根絶が最大の目標ではありますが、どのような対策をしても、必ず発生するだろうというふうに認識しております。そのため、いかなる事態に遭遇しましても、乗客の皆様の安全を最優先とする行動ができるよう、乗務員ほか内勤者も含め訓練や研修を実施しております。
今回の車両からの発煙に関しましては、事故やインシデントの部類には当たらない偶発的なトラブルではありますが、運行障害に至ったものであります。幸いにして現場にて発煙はおさまりましたが、その時点では原因が分からなかったことから、お客様の安全を考え、当該電車の運転を打ち切る判断をいたしました。乗り合わせのお客様には大変ご迷惑をおかけいたしました。担当しました乗務員や通報を受け、運転打ち切りを判断しました配車員、そして原因究明と再発防止策を担当した技術職員のいずれも落ち着いた対応ができたと評価しております。
今後も様々な事故やインシデントの条件設定を考慮した訓練や研修を実施しまして、市民生活を支える安全で快適な公共交通機関として、お客様のニーズを考えたサービスの提供に努めるとともに、これから先も市民の足である市電を守り、輸送の安全確保に努めてまいりたいと考えております。私からは以上でございます。

三浦会長 ありがとうございます。以上で、本件については終了いたします。

5 その他

三浦会長 それでは、次に、次第4のその他でございますが、事務局から報告事項がありますのでお願いいたします。

経営企画課長 本日、1点ご報告させていただきます。GLAYマンホールの設置について、経営企画課長よりご報告させていただきます。

資料につきましては最後のページになります。その他報告事項ということでページ番号が振られておりませんが、A3判の資料をご覧いただきたいと思います。新聞報道等でもご存じの委員もおられると思いますが、昨年11月22日に函館市排水設備指定業者協同組合から設立50周年を迎えるにあたり、デビュー30周年のGLAYと人気漫画「ONE PIECE」原作者の尾田栄一郎氏のイラストを使用したデザインマンホール5種類が企業局に寄贈されました。翌日11月23日には、その内の集合デザインのマンホールを資料左上①のとおり、函館アリーナ等市内3箇所に記念設置させていただいております。また、資料左下の②番のとおり、今年の3月1日から3月24日までの期間限定で、五稜郭タワーアトリウムステージ上に5種類全てのデザインが揃った形で、市民や観光客等多くの皆様にご覧いただけるようにGLAYマンホールの展示にあわせて、水道事業および下水道事業に関するパネルの展示も行わせていただきました。次に、2ページの右側をご覧いただきたいと思います。今週末28日金曜日から資料にありますとおり、緑の島等市内5箇所に路面設置を行います。路面設置するマンホールのデザインにつきましては、毎年ローテーションさせて設置をする予定としております。なお、このGLAYマンホールにつきましては、令和11年11月までの期間限定の設置となります。また、冬期間につきましては、除雪による破損等の恐れがあるため、路面設置は休止することとなります。以上、GLAYマンホールについてのご報告とさせていただきます。

三浦会長 各委員の方、何かございましたら、よろしくお願いいたします。

川口委員 川口です。GLAYの効果というのは非常に大きいものだと思います。5つのマンホールは組合から寄贈され、令和11年度まで設置するということですがけれども、普通のマンホールは1個幾らぐらいするのでしょうか。それと、GLAYのマンホールは1個幾らになるのでしょうか。

経営企画課長	普通のマンホールの金額につきましては手元に資料がないので、すぐにはお答え出来ないものですから、申し訳ありません。寄贈いただいたマンホールについては、評価額として経理上計上しておりますが、寄贈という形でいただいているものなので、具体的な金額については控えさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
三浦会長	よろしいですか。あと、もう一件、普通のマンホールの金額についてもご質問があったと思いますが、今すぐ回答という形は難しいところもあると思いますので、後ほど、事務局から直接委員へ回答していただきたいと思いますと思いますが、どうでしょうか。
経営企画課長	わかりました。後ほど川口委員に直接回答いたします。
川口委員	令和11年度までGLAYマンホールを作るということですが、金額もついでに教えてください。
経営企画課長	GLAYマンホールにつきましては、記念設置用の3枚と、路面設置用5枚の合計8枚を寄贈いただいたという事でございます。企業局で今後作るということではございませんでした。
三浦会長	はい。他に何かございますか。それではご発言がないようですので、本日の会議日程は以上となります。それではこの先の進行を事務局にお返しします。
6 閉会	
経営企画課長	三浦会長ありがとうございました。以上で本日の日程は全て終了となります。 本日の会議録につきましては、この後、事務局にて案を作成し、後日、委員の皆様へ発送し、ご確認いただく形で作成してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、以上をもちまして、令和6年度第4回函館市企業局経営懇話会を閉会いたします。本日はありがとうございました。